

京都大学 生存基盤科学研究ユニット・東南アジア研究所
京滋フィールドステーション事業

「在地と都市がつくる循環型社会再生のための実践型地域研究」

最終報告会

日時：平成24年3月24日（土曜日） 10時00分～16時45分
場所：守山市守山駅前コミュニティホール 第一ホール
（JR守山駅西口 「セルバ守山」 3階）

プログラム

9:30 開場、受付

10:00 開会あいさつ

水野 広祐

高谷 好一

在地と都市がつくる循環型社会再生のための実践型地域研究

安藤 和雄

京滋フィールドステーション事業 活動報告

■ 亀岡フィールドステーション

コメンテーター：鶴飼 均、田中 誠司

10:45 水運文化の伝承を通じた流域連携の再生

原田 禎夫

11:05 「すいたん農園プラン 生き物共生で町おこし」 亀岡市保津町の取り組み

大西 信弘

11:25 愛宕山麓の小集落・清滝のふるさと再生への可能性を求めて

豊田 知八

11:45 ほんまものいかだをつくる！ 保津川筏復活プロジェクトの試み

河原林 洋

12:05

昼食

12:50

■ 守山フィールドステーション

コメンテーター：新道 正男、中井 金蔵、伊藤 潔、松永 之和

12:50 つながりの再構築にむけて ―滋賀県守山市における実践の現場から―

嶋田 奈穂子

13:05 川と水の民俗：滋賀県守山市洲本町開発（かいほつ）

藤井 美穂

13:20 大川活用プロジェクト

矢嶋／安藤

■ 朽木フィールドステーション

コメンテーター：永井 邦太郎、是永 宙、佐藤 登士彦

14:15 火が拓く原野～野から山へ、山から野へ

今北 哲也

13:45 滋賀県余呉町の1960年代の焼畑と実地に学ぶ焼畑

黒田 末寿

- 14:00 焼畑研究から焼畑実践へ ―実践を通じてみえてきたこと― 鈴木 玲治
14:30 ホトラヤマ聞き書き ―椋川での取り組みから― 島上 宗子
14:45
- 休憩
15:00
■ 京滋事務局
15:00 棚田のいま、これから ―雲南の棚田から丹後の棚田へ― 中村 均司
15:15 私が見た日本の田舎 アミ・A・ムティア
15:30 ラオスにおける村づくり実践 矢嶋 吉司

15:50
- ■ 総合討論
16:40
16:40 閉会
16:45
-
17:00 会場撤収

当日、報告会の終了後に、場所を替えささやかですが、懇親会を予定しています。ふるってご参加をください。

問い合わせ、連絡先：

京都大学 東南アジア研究所 実践型地域研究推進室（共 408 号室）

担当：矢嶋吉司

電話：075-753-7837

e-mail：yajima@cseas.kyoto-u.ac.jp